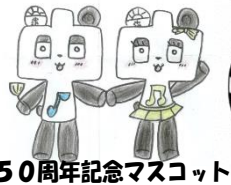


「つたえよう」「わかりあおう」「つなごろう」 学校だより



伸びゆく子

令和2年10月30日  
横浜市立中沢小学校  
11 月 号

## 子どもたちの成長

校長 小倉克彦

一日一日と寒さがつのりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

さて、中沢小学校創立50周年をお祝いする週間が終わりました。先月お知らせをいたしましたとおり、本年度は地域や保護者の皆様、卒業生の皆様をお招きしての祝賀行事は行わないこととさせていただきます、在校生が一週間かけてお祝いをすることにしました。

お祝い週間の取組のひとつとして、各学年の合唱が体育館から各学級のモニターに生中継されました。マスクを着用しているとは思えないほどの美しい力のある歌声と、それを教室のモニターでじっと見守り、大きな拍手で賞賛する子どもたちの姿から、子どもたちの気持ちや成長が伝わり嬉しく思いました。また、合唱以外にも校舎内の飾りつけ、お祝いのメッセージを表現した横断幕を取り付けたり、地域の方にもご支援をいただきながら中沢のよさや歴史などについて調べて発表したりしました。

50周年に向けたすべての取組が、様々な立場の方に教えていただいたり、仲間と協力したりすることですすめられました。子どもたち一人ひとりがあたたかなつながりを実感できた貴重な経験になったと思います。

子どもたちの意欲や成長をメッセージからお伝えします。

以下は6年生の発表(劇と合唱)をみた5年生から6年生に送られた、あたたかで前向きなメッセージです。

- 「(6年生の発表では)50周年や中沢小学校のことを劇にして『受け継いでほしい』と言っていました。わたしは今年から6年生のみなさんの思いを受け継いでいけたらいいと思いました。」
- 「(劇や歌は)はじめから鳥肌がたつほどうまくて、これも中沢小のいいところだから受け継いでつなげようと思いました」

閉会式での学年代表の言葉より抜粋です。在校生への思い、先輩や地域の皆様への思いが伝わります。

- 「飾りつけではケーキとろうそく50本たてることを頑張りました。歌『ありがとうの花』はお祝いする気持ちで楽しく歌いました。他の学年の人と一緒に歌ったり、ほめてもらったりしたことも嬉しかったです。楽しいことが今日で終わるのではなく、これからもずっと続くといいなと思います。」(2年生)
- 「がんばったことは飾りのデザインです。地域の方をご招待できないのでどうしたらお祝いの気持ちが伝わるかを考え、まどに『中沢大すき』という文字をつくりました」(3年生)
- 「この取組を通して学年でもっと一つになっていきたいと思ったし、いつもお世話になっている地域の人や学校の先生にも今度は自分たちがお礼をしようと思いました。また、50周年で活躍している5、6年生の姿をみてしっかりした5、6年生になりたいと思いました。そして、この学校を作り上げてくれた卒業生や地域の方をがっかりさせないようにみんなで力を合わせていきたいと思いました。」(4年生)

今回の取組で子どもたちの心の中に確かな自信と今後に向けた希望が芽生えたと思います。仲間や地域の皆様への思いが今後、さらに膨らみ、子どもたちそれぞれの表現で発信できるよう職員一同で応援していきます。また、保護者の皆様におかれましてはこのあとのミニ運動会、学習参観等に是非ご参加いただき、子どもたちの成長を改めて実感していただきたいと願っています。今月もよろしく願いいたします。